



廿日市市教委だより

令和2年
3月27日
第10号



～ 子どもたちの笑顔を守るのはわたしたち ～

1年間の大事な行事である卒業式が、新型コロナウイルス感染拡大のため無事実施できるのだろうかとかなり心配をしたところですが、各学校において様々な対応策を講じていただおかげで、大きな混乱もなく無事実施することができました。市教委としまして、大変感謝しております。

これから新学期を迎えますが、もうしばらく異例の対応を迫られるものと思われます。そのような中ではありますが、1年間の大事なスタートの時です。コロナ感染症が収束するまで、皆で乗り切っていきましょう。

1年間、どうもありがとうございました。

今も、未来も、ずっと。このまちが輝くために。

はつかいち
ふるさと学習



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

令和2年2月8日(土)、令和元年度「ふるさと学習」発表会を開催し、各学校が取り組んできた「ふるさと学習」の成果を展示・ステージで発表しました。

「ふるさとの良さを守り、次につなげていきたい」「ふるさとをもっとよくするために自分たちにできることをしていきたい」という子ども達の思いや地域の方への感謝の気持ちが、発表から伝わってきました。



ステージ発表校

☆平良小学校 4年生

「発信しよう木の学校『平良小学校まるごとミュージアム』-大好きな学校のよさを地域の人にガイドしよう-」

☆吉和小・中学校 小5、6年生、中1年生

「『吉和の森林開発』に向けた取組」

☆佐伯高等学校 2年生

「『さえき学』-地域活性化の提案と実現に向けて-」

☆廿日市高等学校 1年生

「『地域の課題を考える』-廿日市市を私たちにとって住みやすい街にして、廿日市市の魅力を紹介しよう-」

【観覧された方のアンケートから】

- ・「ふるさと学習」発表会を通して、ふるさとに興味をもってもらえることがすばらしいです。
- ・ふるさとに接する考え方と、世界の持続可能な開発目標に向けた考え方を併せて学びに向かわせる取組が、将来的にとっても有意義だと思います。
- ・どの学校もその地域の良さや課題に対し、子ども達なりに考え調べ、まとめたものでした。すばらしい「ふるさと学習」でした。是非続けてください。
- ・子ども達の力が廿日市を元気にするのだと、感じました。

学級経営研修

2月10日(月)、午前は中学校の先生、午後は小学校の先生を対象に、「学級経営研修」を実施しました。学級づくりは、「つながり支援プロジェクト」や「主体的な学び」を推進していく基盤です。学級づくりのスタートを大事にしましょう！！

【午前～】廿日市市教委 岡本 真一郎課長による講話

★心構えが大事！ 「一隅を照らす、此れ則ち国宝なり」

★学級は学校生活のベース…キーワード「信頼」

- ・居心地のよい学級 (人間関係づくり、雰囲気づくり)
- ・学級開き初日・自己紹介 (所信表明、歴史カード開始)
- ・教室づくり・掲示物 (丁寧に、名前登場、生徒作成)
- ・仲間ネットワークアイテム (仲間理解テスト・ゲーム、帰りの会で書く歴史カードを学級通信で紹介・評価、行事[リーダーシップは担任から生徒へ]、学級卒業式)

★学級の生徒に対して

- ・積極的なかわりを仕掛ける
- ・一緒に楽しむ
- ・生徒の声(自主性)を大事にする

★つなげる仕掛け

- ・生徒の名前を大事にする
- ・きれいな教室を意識する



【参加者の感想】

- ・生徒の歴史カードをもとに、学級通信を1年間ずっと書き続けたその熱意が素晴らしいと思った。

【午後～】阿品台西小 木村 美穂子先生による講話

★学級づくりのスタートで大切にしたいこと

- ・子どもたちは新学年に大きな期待や不安をもって登校している。「新しい学級で頑張れそうだ」「先生が話を聞いてくれそう」と安心感をもち、「よし、頑張ろう」と思える出会いにする。

★新学期のスタート

- ・折り匂・クイズで自己紹介
- ・1年間大切にしていこうこと・思いこれだけは伝えたい！
→みんなが安心して過ごせる学級にする。
- ・読み聞かせ 大型絵本 ・自己紹介カードの記入
- ・国語の音読・暗唱 ・靴箱は、靴のかかとを揃えて入れる。
- ・傘をたたみ、所定の場所を置くように指導
→なぜそのようにするのかを話す。



【参加者の感想】

- ・「安心感」を基盤にルールをつくり、その上に楽しさを加えるという言葉聞いて、自分に欠けていたものに気づいた。

GIGAスクール構想の実現に向けて

新たな社会“Society 5.0”に対応できる力を、子どもたちに育むために、まず今あるICT機器を積極的に活用してみましょ。

1人1台タブレットの実現に向けて、現在、廿日市市教育委員会では整備計画を進めています！

★一斉学習

- 電子黒板に画像を拡大提示して文字を書き込んだり、音声を流したり、動画を再生させたりする。



★個別学習

- インターネットを用いた情報収集をする。
- マルチメディアを用いた資料や作品を制作する。



★協働学習

- グループや学級全体での発表・話し合いに活用する。
- 複数の意見や考えを整理するのに活用する。
- グループでの分担、協働による作品の制作に活用する。



スポットライト!

~この人に注目~

◆平良小学校で養護教諭として勤めておられる市川知子先生に、お話を伺いました。

—養護教諭としていつも心がけていることは？

☑ 子どもたちが、いつも「笑顔で登校して、笑顔で家に帰る」ことができるよう、「たかの目 ありの目」で子どもたちを見守っています。また、子どもたちの心の声に気が付くようにも心がけています。

—日々の教育活動の中で「うれしいな！」と感じる瞬間は？

☑ 元気がなかった子が、保健室で一緒に会話をしたり心を休めたりすることによって、元気に教室に戻っていく時に、やりがいや喜びを感じます。



平良小学校 養護教諭
市川 知子 先生

—先生方に対しては、日々どのようなことを感じておられますか？

☑ 先生方が元気がないと、もちろん子どもたちも元気に過ごすことはできません。ですから、先生方のメンタル面もいつも気にかけています。先生方と、子どもたちや保護者の方に共に関わることで思いを共有していきたいとも思っています。

—これからを生きる子どもたちへ、一言メッセージを!

☑ 「自分の命を大切にできる子」になってほしいですね。自分の命を大事できる人は、人の命も大事にできるものです。

常に子どもたちの心の内面に寄り添う指導を心がけておられる市川先生! 柔らかなその表情には、優しさとお母のような心の温かさがあふれている「人」でした。

「あなたはどんな学級をつくりたいですか？」

プログレス研修「学級経営研修」の協議・演習で使用した「学級づくりスタートワークシート」をご紹介します。研修では、このワークシートに考えを記入することでめざす学級像を整理してもらいました。

①めざす学級
元気・本気・根気の「三気学級」

めざしたい学級のイメージを整理して記入する

②めざす子どもの姿
笑顔あふれる子ども

③具体的な取組
自分自身がいつも笑顔で子どもに接する

めざす学級からめざす子どもの姿をイメージして記入する

めざす子どもの姿に近づくために取り組むことを記入する

つながれ! 広がれ! 「宝の山」

「学級づくりスタートワークシート」を統合サーバに入れました。ぜひご活用ください!

全学年共有>09 校内研修>学級経営研修資料

ワークシートを完成させることで、学級経営の骨格にしたことや具体的な取組が明確になります。

新年度に向けて、どんな学級をつくりたいのか、その学級でめざすのはどんな子どもの姿なのか、そのために具体的にどんなことに取り組むのか等を整理しておきましょう。

廿深!! 『学びの変革』 ⑨

今年度最後の「廿深!! 『学びの変革』」となりました。今回は、国士舘大学教授 澤井陽介先生著書「教師の学び方」の第一章「子供の実態から『学ぶ』」を紹介します。

☆子供が理解するという事

理解するという能力は、思考が伴わなければ開花しない。3つの資質・能力をバランスよく育成するために必要なことは…

- ・学習プロセスを描くこと
- ・子供達の思考を働かせ、正しさも誤りもひっくるめて子供達の多様な発言をつなぐこと

教師が想定する答えだけを考えるのでは×。A案、B案、C案など複数の考えが生まれる授業を。

☆子供は「問い」で学びを進める

子供が主体的に学ぶというのは、自分なりの問いを指標にして、自分の活動の答えを出す試み。

子供が自分の状況を見つめ、自分で次の課題を目指すように。

☆日本の子供達に馴染む対話

- ①ゴールイメージをもたせる
- ②「困る」「迷う」状況をつくる
- ③「深い理解」に辿り着くための「小さな結論」をつくる
- ④「小さな結論」をつなぐ
- ⑤グループメンバーで化学反応を起こす

子供に対話の必要感を感じさせよう。グループごとの結論(小さな結論)をつないで大きな結論(ファイナルアンサー)へ。

【参考】「教師の学び方」澤井陽介(東洋館出版)